

ふるさとテレワークを活かした地域スモールビジネスによる人材創造拠点整備事業

株式会社M-easy（愛知県豊田市）

| | | | | | |
|---------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|---------|-------|------|
| コンソーシアム名 | つくラッセル推進コンソーシアム | | | | |
| コンソーシアム参加機関名 (下線は代表機関) | 株式会社M-easy、株式会社ピー・エス・サポート、名古屋大学未来社会創造機構 森川高行、名古屋大学大学院環境学研究科 高野雅夫、東京大学大学院教育学研究科 牧野篤、一般社団法人おいでん・さんそん、築羽自治区、豊田市 | | | | |
| 地方移動者数 | 従業員:3 | 個人:1 | 地元ワーカー数 | 従業員:0 | 個人:5 |
| 事業概要 | サテライトオフィス、コワーキングオフィスに、企業・大学を誘致。企業、大学、行政、地域がともにはたらき、持続的に成長発展できる地域スモールビジネスが沸き上がる人材創造拠点を創出する。 | | | | |



旧築羽小学校
廃校になった小学校を活用

企業・人材を誘致する仕組み

◆「企業と農山村をむすぶコーディネート業務」
企業と農山村をむすびつけるコーディネート組織、大学とともに新たな企業・人材を誘致する情報発信、営業、PRイベント（とよたの山里マッチングツアー）を実施
連携：豊田市、おいでんさんそんセンター（一般社団法人おいでん・さんそん）、株式会社ピー・エス・サポート

整備・運用

新事業が沸き上がる仕組み

◆「ICTを活用した地域支え合いの仕組み構築による新事業の創出」
高齢社会の課題先進地である中山間地でICTを活用した地域支え合いの仕組みづくりに取り組む大学と連携した新事業の創出（名古屋大学未来社会創造機構森川高行、東京大学大学院教育学研究科牧野篤）
◆「地域スモールビジネスによる新事業創出」
地域社会起業家の集いをベースに、大学、地域、行政、企業が交流し、新事業が沸き上がる場づくりを行う（地域スモールビジネス研究会に所属する起業家・個人、株式会社M-easy、名古屋大学大学院環境学研究科高野雅夫、名古屋大学未来社会創造機構森川高行、東京大学大学院教育学研究科牧野篤）

めざす展開

1. 生活者目線の人材育成の場

地域に住むひとりひとりが、関係する企業、大学、行政にぞくするひとりひとりが、相互に交流し、自分自身と地域に向き合う中で、主体的で創造的な暮らしかた、はたらきかたを発見できる場になること。

2. 相互関係による新しい事業の創出

地域、企業、大学、行政の立場をのりこえて、交わり合いながら、社会課題に取り組む新しい事業がうみだされる場になること。

3. 持続可能な高齢社会のありかたの提案

高齢者、若者、子どもたちと相互の交流の中で、死ぬまで元気で活躍できるありかたを提示することで、安心して年を重ねられる暮らしかたはたらきかたを提案すること。

4. 暮らしの中ではたらくを両立した次世代育成の日常空間の創出

テレワークを最大限活用し、農山村での暮らしとはたらくことを両立できる人材の活躍を次世代の子どもたちが間近にふれることができる日常空間を創出すること。

5. クラウドソーシング拠点

都市部の仕事を受注し、農山村の暮らしと両立しながらし続けることができる仕組みを構築し、新しい農山村での新しいはたらきかたのモデルとなること。

移住定住を受け入れる仕組み

◆「空き家バンク制度」
移住者の住まいをサポートする
連携：豊田市、おいでん・さんそんセンター（一般社団法人おいでん・さんそん）、築羽自治区
◆「いなか暮らし総合窓口」
移住者に寄り添い、暮らし・仕事・住まいなどの相談を受ける
連携：おいでんさんそんセンター（一般社団法人おいでん・さんそん）



ふるさとテレワークを活かした地域スモールビジネスによる人材創造拠点整備事業

株式会社M-easy（愛知県豊田市）

■整備した拠点の概要

【名称】つくラッセル(旧築羽小学校)

【住所】愛知県豊田市旭八幡町堂山432-3

【対象者】シェアオフィス契約の都心企業(社員)、地域滞在の自営型テレワーカー

【可能業務】遠隔パソコン業務、印刷・製本、遠隔テレビ会議

【提供機能】1. オフィス什器(テーブル、チェア、ホワイトボード、ノートパソコン、鍵付きキャビネット、裁断機、ラミネーター) 2. 遠隔接続テレビ会議機材(大型タッチパネルディスプレイ、プロジェクター、スクリーン) 3. オフィス住環境(エアコン、ブラインド、ロッカー) 4. インターネット通信環境(高速光回線、無線LAN環境) 5. オフィス複合機 6. 監視カメラによる24時間セキュリティ監視

【整備内容】

シェアオフィス(1部屋4名)

コワーキングスペース(1部屋5名)

オープン会議スペース(1部屋)

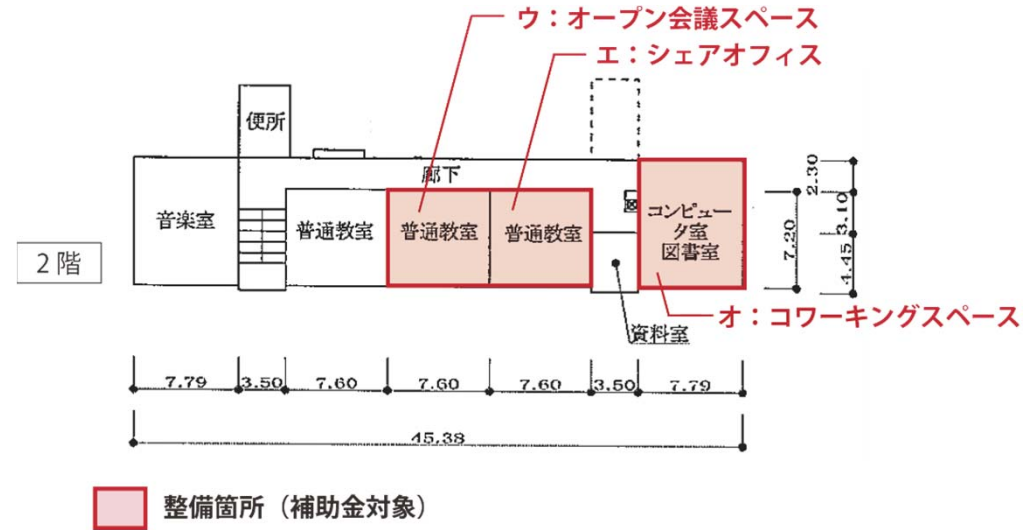


■整備完了後の取組内容の概要

平成29年度は拠点整備に主に時間を費やした。今後は、都市部からのUターン、Iターン者がテレワーカーとして仕事できる環境づくり、仕事づくりを進めていくために、現在の4事業者の業務拡大を拠点として支援していくとともに、都市部の企業と連携したテレワークの業務の創出をおこなう。(現在、東京都1社、豊田市街地1社と協議中)

平成30年度は、シェアオフィス利用4人/年、コワーキングスペース利用12人/年、平成31年度までに、シェアオフィス利用4人/年、コワーキングスペース利用17人/年以上の利用を目標値として、環境整備および利用促進を図る。

(参考①) 整備した拠点について



【オープン会議スペース】

会議テーブル、チェア、プロジェクター、スクリーン、大型タッチディスプレイ、エアコン、オートロック錠前、Wifi環境、OAフロア



【シェアオフィス】

テーブル、鍵付きワゴン、チェア、ホワイトボード、鍵付き書庫、エアコン、オートロック錠前、Wifi環境、OAフロア



【コワーキングスペース】

テーブル、チェア、ホワイトボード、大型タッチディスプレイ、デジタル複合機、裁断機、ラミネータ、オートロック錠前、Wifi環境、OAフロア

(参考②) 整備完了後の取組内容について

運用計画 ふるさとテレワークを活かした地域スモールビジネスによる人材創造拠点

サテライトオフィス、コワーキングオフィスに、企業・大学を誘致。企業、大学、行政、地域がともにはたらき、持続的に成長発展できる地域スモールビジネスが沸き上がる人材創造拠点となる。

平成30年度 地方移動者数4人、地元ワーカー12人

平成31年度 地方移動者数4人、地元ワーカー17人



旧築羽小学校
廃校になった小学校を活用 整備・運用

企業・人材を誘致する仕組み

- ◆「企業と農山村をむすぶコーディネート業務」
企業と農山村をむすびつけるコーディネート組織、大学とともに新たな企業・人材を誘致する情報発信、営業、PRイベント（とよたの山里マッチングツアー）を実施
連携：豊田市、おいでんさんそんセンター（一般社団法人おいでん・さんそん）、株式会社ピー・エス・サポート

新事業が沸き上がる仕組み

- ◆「ICTを活用した地域支え合いの仕組み構築による新事業の創出」
高齢社会の課題先進地である中山間地でICTを活用した地域支え合いの仕組みづくりに取り組む大学と連携した新事業の創出（名古屋大学未来社会創造機構森川高行、東京大学大学院教育科学研究科牧野篤）
- ◆「地域スモールビジネスによる新事業創出」
地域社会起業家の集いをベースに、大学、地域、行政、企業が交流し、新事業が沸き上がる場づくりを行う（地域スモールビジネス研究会に所属する起業家・個人、株式会社M-easy、名古屋大学大学院環境学研究科高野雅夫、名古屋大学未来社会創造機構森川高行、東京大学大学院教育科学研究科牧野篤）

めざす展開

- 1. 生活者目線の人材育成の場**
地域に住むひとりひとりが、関係する企業、大学、行政にぞくするひとりひとりが、相互に交流し、自分自身と地域に向き合う中で、主体的で創造的な暮らしかた、はたらきかたを発見できる場になること。
- 2. 相互関係による新しい事業の創出**
地域、企業、大学、行政の立場をのりこえて、交わり合いながら、社会課題に取り組む新しい事業がうみだされる場になること。
- 3. 持続可能な高齢社会のありかたの提案**
高齢者、若者、子どもたちと相互の交流の中で、死ぬまで元気で活躍できるありかたを提示することで、安心して年を重ねられる暮らしかたはたらきかたを提案すること。
- 4. 暮らしの中ではたらくを両立した次世代育成の日常空間の創出**
テレワークを最大限活用し、農山村での暮らしとはたらくことを両立できる人材の活躍を次世代の子どもたちが間近にふれることができる日常空間を創出すること。
- 5. クラウドソーシング拠点**
都市部の仕事を受注し、農山村の暮らしと両立しながらし続けることができる仕組みを構築し、新しい農山村での新しいはたらきかたのモデルとなること。

移住定住を受け入れる仕組み

- ◆「空き家バンク制度」
移住者の住まいをサポートする
連携：豊田市、おいでん・さんそんセンター（一般社団法人おいでん・さんそん）、築羽自治区
- ◆「いなか暮らし総合窓口」
移住者に寄り添い、暮らし・仕事・住まいなどの相談を受ける連携：おいでんさんそんセンター（一般社団法人おいでん・さんそん）

